

支援者さまと国境なき医師団(MSF)をつなぐニュースレター

2021年 8月号



© Shin Yahiro



© Shin Yahiro

MSFの助産師、土岐翠と父の彰さん。活動地と日本、遠く離れていても心はいつもつながっている。

「皆さまと家族の支えがあるからこそ、いつも全力で活動地へ向かえます！」

—— その時、父は？ 妻は？ 母は？

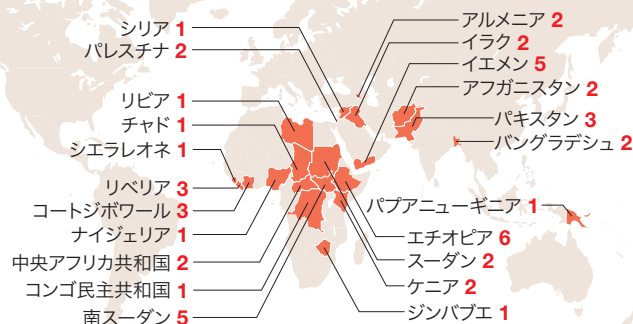
海外派遣スタッフ

3つの家族の物語

皆さまから寄せられるご質問の中でも、特に多いのが「海外派遣スタッフとそのスタッフを送り出すご家族は、いったいどういう信頼関係で結ばれているの？」という声。支援の志を同じくし、いつも私たちの医療援助活動を温かなまなざしで見守ってくださる支援者さまへ、今回は海外派遣スタッフと、その家族の物語をお届けします。

日本からのスタッフ派遣状況

22の国と地域 49人(2021年7月1日現在)





日常生活では全くケンカをしないという2人。「夫は意外におちょこちょいな面もあるんですよ」と妻の美華さん。

Family Story 2

唯一のケンカの原因はMSF!? 結婚後も活動を続ける夫と、妻の気持ち

せき さとし
関 聡志（外科医）・妻 美華さん

式場見学の日にシリアへ

聡志 妻は、僕が普段勤務している日本の病院で医療事務をしています。知り合つてすぐに付き合つて、半年後にプロポーズ。その直後に4度目の派遣でシリアへ行きました。

美華 彼がMSFで活動していることは職場でキュービッドになつてくれた人から知らされていて、格好いいと思つていました。でも付き合うとなると話は別。他人事ではなくなつて「絶対に行つてほしくない!」と。

聡志 MSFで活動することは僕の小さな頃からの夢だつたし、医者になつた大きな理由の一つ。そのためにキャリアを積んできた側面もあります。でも彼女は医療従事者ではないし、海外経験もない。セキュリティ管理のことも含め、なるべく現地の状況をわかりやすく話すよう努力しました。

美華 あの時は何を言われても悲しかった。結局、派遣への準備はどんどん進んで、結婚式場を見に行ったその日の夕方に、シリアへ旅立つたんです。**聡志** 「もう決まったことだから」と



イエメンの病院で現地スタッフと。腕の中にあるのは、2021年に最初に生まれた双子の赤ちゃん。

とき みどり
土岐 翠（助産師）・父 彰さん

言うに言えなかった、海外派遣への思い。 水面下で進んだ入団と、親子の逡巡

MSF参加は10代からの夢

翠 私が国境なき医師団（MSF）と出会つたのは10代の半ばです。「国の境目が生死の境目であつてはならない」という言葉が衝撃的で、将来絶対に入団したいと思つたんです。医療者を目指したのもそのためですし、大学卒業後に助産師として働いた後、オーストラリアへ留学したのも活動に必要な英語力を身に付けるのが目的。着々と準備を進めていた感じです。**彰** 娘が中学・高校生の頃は、私が単身赴任をしていたこともあり、会えるのは月に1回程度。子どもたちは父の背中というより、看護師である母の背中を見て育つています。ですから医療関係に進むのは、自然なこととして見ていましたが、まさかこうした道に進むとは……。

翠 将来は絶対MSFで働くんだという強い意思がある一方で、本当に自分にできるのかという不安ももちろんありました。そのため、夢が実現するまでは誰にも言うつもりはなく、両親をはじめ、兄弟、友人にもMSFへの参加の思いを話したことはありません。

ませんでした。そして、念願かなつてようやくMSFの選考を通過した直後、あの事件が（笑）。

歓喜のSNS投稿が……!?

彰 勤務中の昼休みに偶然、娘のSNSを見たら、「夢に見たMSFに参加します!」と投稿していて「な、何だこれは!？」と。その時初めて、MSFに応募していたことを知り、本当に驚きました。

翠 父が私のSNSを見ることができるのを忘れて投稿してしまい、突然の報告になつてしまつたんです。それまでに、「話すならいまだ」という瞬間は何度もありました。他団体のドキュメンタリー番組と一緒に見



「ちゃんと食べてるよ」と伝えるために、心配する妻に送ったイエメンでの食事の写真。

言うしかありませんでした。

60歳まで海外派遣を志す夫

美華 帰国後、無事結婚。もう独り身じゃないんだし、さすがに諦めてくれるはずと信じていたら、またイエメンへ派遣の話が。再び大泣きです。

聡志 活動地は紛争地であることも多いし、患者さんは常に待つたなし。条件が限られる中で、外科医としてやれることを、全力でやるしかない。ジレンマも多いし、救えない命もある。でもMSFでの活動には、医者として純粹にやりがいを感じるんです。

美華 とにかくちゃんと眠つてるか、食べているか、健康が一番心配です。

聡志 派遣中は1日1回LINEで連絡していて、妻のそういう気持ち

助産師 土岐 翠
派遣歴2回。現地の助産師・看護師のトレーニングを行う傍ら、現地の人びとに家族計画なども指導。

- 海外派遣への道のり

中学時代	MSFへの参加を夢見る
2008年	助産師に
2018年	念願かなつてMSFの選考通過
2019年	初めての派遣でイラクへ
2020年	2度目の派遣でイエメンへ

●支援者の皆さまへ
いつも活動地へ行かせていただき、ありがとうございます。皆さまのご支援が力を頂いています。

ていて、父が感心していた時とか。でも行くと言えば心配をかけることは確実だし、自分が目指している道は、両親の期待と違うと思つたので、2人の反応がとても怖かつた。それに話そうとする時に限つて「翠は危ない場所へは行かないよな?」と言われたり、意を決して電話をしたら突然父のスマートフォンが壊れたり（笑）。

彰 特別な準備をしていて、私と妻への報告が遅れたことは後から知りました。

翠 その後、父から「本当は一番におめでとうつて言つてやりたかつた」とメールをもらつた時には、もう泣いて、泣いて。

彰 いまも心配なことには変わりはありません。ただ娘のイラクでの活動記※に寄せられた支援者の皆さまからの感想などを読ませていただくと、本当にありがたいですし、誇りに思っています。親としては自慢の娘です。

外科医 関 聡志
派遣歴6回。交通事故・銃創などの外傷手術をはじめ、子宮摘出・帝王切開などの産科手術も担当。

- 海外派遣への道のり

子どもの頃	MSFへの参加を夢見る
2009年	医師に
2016年	外科医として最年少でMSFに採用され、南スーダンへ
2018年	プロポーズ後、シリアへ
2021年	3度目のイエメンへ

●支援者の皆さまへ
皆さまのお気持ちが現場で大きな力となるを感じています。いつもご支援ありがとうございます。

痛いほど伝わるので、「今日はこんなごはんを食べたよ」と、元気でいることを意識的に伝えるようにしています。自分には帰る場所があり、待つていてくれる人がいる。それは活動中の大きな支えになつていて、心からありがたく思っています。

美華 夫のことは尊敬していますし、手術着姿の写真はスマートフォンに保存するくらい大好き（笑）。活動地から送られてくる言葉の端々からも、生き生きとした様子を感じます。だから思う存分がんばつてほしいと思う一方で、私の中では、正直まだ折り合いのつかない部分もあります。

聡志 僕の両親も含め、家族はみんな妻の味方。一堂に会すると全く居場所がないんです。まさに孤立無援（笑）。

美華 夫は60歳までMSFの活動を続ける気ようです。行かせるのは心配だけど、諦めて、笑つて送り出すのも一つの愛だと思ひ始めています。

Family Story 3

喜びも泣き言も全部話す。 母と娘の信頼関係

● しらね まいこ
白根 麻衣子 (アドミニストレーター)・母 洋子さん

強くなって帰ってきた娘

洋子 実は私は、娘がMSFを目指すずっと以前から寄付を通してMSFと関わっていたので、果たしてこの子に現地での生活ができるのかと……。

麻衣子 2人の姉が海外でボランティアをしているのを横目に、私はハ

母・洋子さん
「つらかったらいつでも
戻って来ればいい」

アドミニストレーター・白根
「帰る場所があるから、
安心して行けるんです」

娘の麻衣子にとって、何でも包み隠さず話せる母の洋子さんは一番の理解者だ。

ワイで遊ぶ方がいいと思っていましたから(笑)。でもインターナショナルスクールで、世界各地の恵まれない子どもたちを日本で受け入れる奨学金制度の仕事に関わってから、もっと直接的に社会貢献したいと思い始めたんです。まずはMSF日本の事務局職員として勤め、アドミニストレーターの採用試験を受けました。

洋子 最初の派遣でウクライナへ送り出す時はもちろん不安でした。でも本人からLINEで頻繁に連絡がきて、むしろ家にいる時よりやり取りが密だった。人道援助に携わる喜びも泣き言も、全部さらけ出してくれたので、私としては逆に安心でした。

麻衣子 母にはただただ聞いてほしかったんです。そのおかげで約7カ月の派遣期間を乗り切れました。そして現地での活動を続けたくなった。MSFは70余りの国と地域で活動していて、それぞれ背景も異なります。これで終わらせたくないと思いました。
洋子 驚きましたよ。すごくたくましくなっただけで帰ってきましたから。でも次に派遣されたパレスチナ・ガザ地区から「空爆が始まった」と電話が

アドミニストレーター 白根 麻衣子

派遣歴3回。活動地では財務や人事を担当。現在はMSF韓国事務局に勤務。

● 海外派遣への道のり

- 2009年 大学卒業後、銀行に就職
- 2014年 インターナショナルスクールに勤務
- 2016年 MSF日本事務局に入職
- 2017年 初めての派遣でウクライナへ

● 支援者の皆さまへ

活動地へ行き、MSFが緊急ニーズに迅速に対応できるのは、皆さまのおかげだとより強く感じました。

かかってきた時には、「なんで行かせたのだろう」と本当に後悔しました。

麻衣子は「地球にあげた子」

麻衣子 3度目はアフガニスタンで。

洋子 あの時も麻衣子は泣いてばかり(笑)。でも結局のところ、親の方がいい勉強をさせてもらっています。いまでは家族みんなで世界情勢やMSFのことを学ぶようになって、絆が一層深まりました。この子は「地球にあげた子」。だから覚悟を決めて送り出したら、あとはいつでも帰れる場所を作っておくのが私の役目です。



2018年、パレスチナ・ガザ地区で活動中の白根麻衣子。

今号のこぼれ話や、
他の家族の物語はこちら！
[www.msf.or.jp/
team_msf/expats/
voice/](http://www.msf.or.jp/team_msf/expats/voice/)



スマートフォンから▲

MSF日本事務局 採用チームから

海外派遣スタッフにとって家族の同意やサポートはとても大切なことです。しかし、本人の意思がいくら固くても、安全管理の懸念などから家族の反対により、活動への参加を断念する方の声も多く聞かれます。MSFではスタッフや患者の安全を第一優先にしており、各現場に

配置された責任者によって管理されています。本人や家族が安心できるよう、このような安全管理については出発前研修や派遣先を決める際などにしっかりと話をさせていただいています。人道援助活動を支える大切な柱の一つとして、よりご家族のご理解を得られるよう私たちも努めていきたいと思っています。



採用担当の白川(左)とシュラキ(右)。

ニュースレター

ACT!

2021年8月号

発行元 特定非営利活動法人 国境なき医師団日本
〒162-0045 東京都新宿区馬場下町1-1 FORECAST早稲田FIRST 3階

寄付・ご登録情報 に関するお問い合わせ

TEL 0120-999-199

通話料無料

平日9:00~18:00/
土日祝日、年末年始休業

※ご住所に変更がある場合は、上記までご連絡ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、場合によっては寄付によるお手続きや領収書の発行といった、事務対応に遅延が発生する可能性があります。何卒ご了承くださいませようお願いいたします。

遺贈 に関するご相談・お問い合わせ

TEL 03-5286-6430

担当者直通

平日10:00~17:00/
担当：荻野、今尾

国境なき医師団は、世界約70の国と地域で活動する、民間で非営利の医療・人道援助団体です。紛争地や自然災害の被災地、貧困地域などで危機に瀕した人びとに、独立・中立・公平な立場で緊急医療援助を届けています。年次活動報告書 www.msf.or.jp/library/annualreport/

【訂正】『ACT!』6月号に誤りがありました。
訂正してお詫び申し上げます。

該当箇所：P.3 左下【公式サイトで特集公開中】欄記載のURL

誤：www.msf.or.jp/syria10/index.html

二次元バーコードも右が正しいものです

正：www.msf.or.jp/syria10/index.html

